

「イブニングセミナー in 酒田」が開催されました

8月18日（木）、酒田市の東北公益文科大学で「イブニングセミナー in 酒田～クルーズ船寄港を核とした地域の活性化に向けて～」が開催されました。

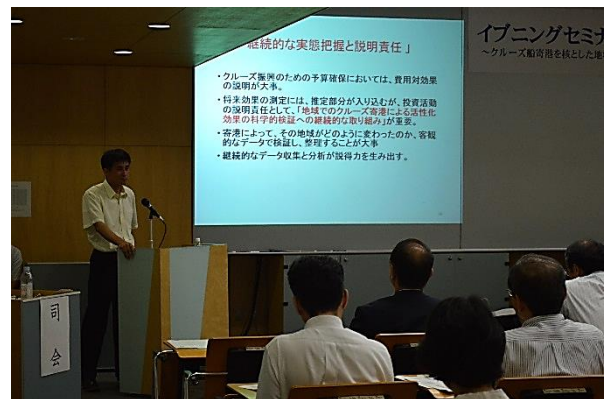
酒田港への外国クルーズ船寄港をきっかけとした地域活性化の戦略などを意見交換することを目的としたこのセミナーは、“プロスパーポートさかた”ポートセールス協議会が主催し、酒田市内の企業や関係機関から約70名が参加しました。

大阪大学大学院国際公共政策研究科教授の赤井伸郎氏の講演では、クルーズ船誘致に向けた地域で行う効率的・効果的な振興策として、「クルーズ船の誘致のためには、日本海側の青森、金沢など他の港と連携して活動した方が良い」「5年くらい先を見越した活動が必要」などの提言があり、参加者から「どのようにターゲットを絞るべきか」という質問には、「酒田港は16万トン級の大きな船が入ることができる、ポテンシャルを持った港である。大きな船が1回来ると、住民意識も変わる。それが重要である。」という回答がありました。

続くディスカッションでは、赤井教授を中心とした財政・公共政策研究グループに所属する先生方から、酒田港を視察して感じた酒田の魅力や地域活性化について、「地元企業のニーズに合った投資計画をしている」「港はもっと地元住民が楽しめるようにすべき」などの意見が出ました。



大阪大学大学院国際公共政策研究科
赤井伸郎教授



講演の様子



ディスカッションの様子



参加者が質問する様子

